

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成26年9月30日現在

今月の重点活動

■えだまめ 作業受委託実証試験を実施

えだまめの出荷量の増加や規模拡大を推進するため、9月15日、農業普及課とJAぎふが協力し、曾我屋えだまめ選果場において、脱莢から選別までの作業受委託実証試験を行った。昨年の実証試験で課題として挙げられた選別時間の短縮を図るため、ベルトコンベア式選果を導入し、作業能率の向上と低コストを目指した。この結果、昨年より大幅に選別作業時間を短縮することができ、今後、実証試験を積み上げ、選別作業の受委託モデルを提案することとしている。



【作業受委託実証試験】

活力ある新産地づくり

■アスパラガス 飲食店関係者に消費拡大PR

9月8日、岐阜市内の酒店において、地元産アスパラガスの消費拡大に繋げるため、「鳥獣害は食べて減らすぞ、ジビエの会」を開催し、飲食店関係者約40名が参加した。農業普及課は、この企画を支援するとともに、アスパラガスの産地づくりの取り組みや美味しく食べるコツや保存方法などを紹介した。その後、アスパラガスを使ったアイデア料理が提案され、交流を深めた。



【アスパラガスの産地紹介】

売れる農畜産物づくり

■いちご 産地戦略会議を開催

9月2日、JAぎふ黒野農産物流通センターにおいて、農業普及課及びJAぎふ担当者によるいちご産地戦略会議を開催した。近年、新規就農者の育成が進みながらも産地規模は現状維持の状況であり、今後のいちご産地のあり方や産地への支援策について、活発な検討が行われた。

農業普及課からは、先進地視察調査の報告や消費地でのマーケティング調査、パッキングセンターの必要性や今後の改善策、栽培技術などの提案を行った。



【産地戦略会議】

■かぶ 秋かぶの生産振興

9月12日、各務原園芸振興会玉かぶ部会役員会において、今後の秋かぶの生産・出荷について協議した。8月の長雨の影響は無く、播種・生育ともに順調に進んでいる。

農業普及課からは、本年の栽培管理上の注意点について情報を提供した。今後は、10月の出荷に向けて市場との情報交換や目揃え会を通じ、生産振興を図っていく。



【秋かぶのほ場】

■柿 早秋の目揃え会の開催

10月1日からの早生柿「早秋」の初出荷を控え、9月27日から各柿振興会で目揃え会が開催された。

農業普及課からは、今年の柿の生育状況を説明するとともに、選果基準の徹底による産地イメージの向上を呼びかけた。今年の柿は、気温推移が近年の高温傾向とは異なり、平年並み～やや低めに推移したことから果実の肥大は順調で大玉傾向となり、早秋では着色も前進している。



【目揃え会】

多様な担い手の育成・確保

■ 青年農業士 **岐阜地域農業担い手情報交換会の開催準備**

農業普及課では、10月3日に岐阜地域農業担い手情報交換会を開催する。情報交換会において、2名の若手生産者からの事例発表を予定しており、9月10日、発表者の青年農業士連絡協議会副会長と打ち合わせを行った。

この情報交換会は、就農間もない新規就農者や就農希望者と指導農業士、青年農業士などのベテランの農業者とが一堂に会し、相互に交流を深めることを目的に毎年開催している。



【発表者との打合せ】

■ 小規模高齢化集落 **青波地区集落システム確立検討委員会**

9月4日、山県市富波公民館において、集落営農システム確立検討委員会が開催された。事業の受け皿組織となる水利組合の役員から事業計画が説明され、農地情報の地図化や不在地主の特定、そしてアンケート調査による今後の営農体制等について検討していくことを決定した。

農業普及課からは、第2回集落営農塾への参加を促し、鳥獣被害防止柵「猪鹿無猿柵」の紹介も行った。



【猪鹿無猿柵の説明】

■ いちご **若手生産者を濃密指導**

農業普及課では、養液栽培を行っている若手生産者を週1～2回のペースで巡回し、ホコリダニ類、うどんこ病などの病虫害防除対策や養液管理のポイントなど栽培管理全般の指導を行っている。栽培管理に不安を感じる生産者が多く、農業普及課では、いかに自信を持って栽培に取り組んでもらえるかを試行錯誤しながら、生産意欲の向上に努めています。



【若手生産者の指導】

魅力ある農村づくり

■ にんじん **アイガモロボット畑地利用の検討**

冬に播種する春夏にんじんでは、ビニールトンネルによる保温が必要なため、ビニールを外しながらの間引き・中耕作業に手間がかかり、規模拡大を阻害している。

そこで、農業普及課とJAぎふは、水田雑草対策として開発が進みつつあるアイガモロボットをビニールトンネル内での中耕作業に利用できないかと考え、9月5日、現地に県情報技術研究所を招き意見交換を行った。現在、アイガモロボットの幅に合わせた条間でにんじんを播種しており、生育後、にんじん畑での稼働を試験することとしている。



【加工キャベツ畑で意見交換】

県民みんなで育む農業・農村

■ 花育 **FBC秋花壇地方審査**

学校や地域の環境美化、子供達の情操教育を目的に実施されている学校花壇コンクールに管内26小中学校が参加している。9月11日、岐阜農林事務所、岐阜教育事務所、農業経営課が審査員となり地方審査を行った。各学校で子供達から花壇づくり等の取組の説明を受け、竹鼻小学校等上位5校を県中央審査に推薦した。



【学校での審査】